



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月21日

上場会社名 (株)テイクアンドギヴ・ニーズ
 コード番号 4331 URL <https://www.tgn.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩瀬 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷田 昌広

TEL 03-3471-6806

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日

2020年6月12日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 63,678 | 4.8 | 3,579 | 16.4 | 3,381 | 13.3 | 1,003 | 56.1 |
| 2019年3月期 | 66,871 | 3.5 | 4,281 | 53.7 | 3,900 | 56.7 | 2,283 | 157.1 |

(注) 包括利益 2020年3月期 935百万円 (58.1%) 2019年3月期 2,234百万円 (162.1%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円銭 | 円銭 | % | % | % |
| 2020年3月期 | 77.46 | | 4.3 | 5.9 | 5.6 |
| 2019年3月期 | 176.33 | | 10.4 | 6.9 | 6.4 |

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 2020年3月期 | 58,197 | 23,797 | 40.6 | 1,822.56 |
| 2019年3月期 | 57,130 | 23,181 | 40.2 | 1,711.86 |

(参考) 自己資本 2020年3月期 23,611百万円 2019年3月期 22,948百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2020年3月期 | 4,259 | 7,038 | 2,293 | 6,078 |
| 2019年3月期 | 6,449 | 2,488 | 1,956 | 6,568 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 百万円 | % | % |
| 2019年3月期 | | 0.00 | | 15.00 | 15.00 | 194 | 8.5 | 0.8 |
| 2020年3月期 | | 10.00 | | 10.00 | 20.00 | 259 | 25.8 | 1.1 |
| 2021年3月期(予想) | | | | | | | | |

(注)2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期 | 13,059,330 株 | 2019年3月期 | 13,059,330 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年3月期 | 104,412 株 | 2019年3月期 | 107,650 株 |
| 期中平均株式数 | 2020年3月期 | 12,954,517 株 | 2019年3月期 | 12,952,310 株 |

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 46,372 | 6.5 | 3,177 | 3.0 | 3,090 | 4.0 | 1,077 | 33.7 |
| 2019年3月期 | 49,570 | 24.0 | 3,086 | 45.2 | 2,970 | 52.5 | 1,623 | 98.9 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 83.14 | |
| 2019年3月期 | 125.38 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--|--------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2020年3月期 | 50,685 | | 21,337 | | 42.1 | | 1,647.03 | |
| 2019年3月期 | 48,785 | | 20,579 | | 42.2 | | 1,588.93 | |

(参考) 自己資本 2020年3月期 21,337百万円 2019年3月期 20,579百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。なお、詳細については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同時開示しています。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (追加情報) | 13 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 17 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における婚礼業界におきましては、婚姻件数が58万3千組（2018年度は58万6千組 前年比0.6%減 厚生労働省「2019年人口動態統計」）と、前年比で減少率は鈍化（2018年度 前年比3.4%減）しましたが、第4四半期に新型コロナウイルス感染症の影響が世界的に拡大し、マーケット環境については非常に不透明なものとなっております。

このような状況のもと、当連結会計年度におきましては、前年度に発表いたしました「長期経営方針～EVOL2027～」に基づき、「ホスピタリティ産業にイノベーションを起こす」というミッションの下、「国内ウェディング事業」「海外・リゾートウェディング事業」「ホテル事業」の3事業の成長戦略を推進してまいりました。

主力である国内ウェディング事業は、安定したキャッシュフローを生み出し、他2事業の成長投資を支えるべく、経営資源の最適配置、費用の効率化を進め、収益改善を図りました。

また、今後の成長事業となるホテル事業、海外・リゾートウェディング事業に関しても、新規出店に向けた不動産開発、人材教育、国内販売体制の再構築に努めた結果、通期連結業績は、2020年2月の時点で「5期連続の増益」を達成する見通しとなっております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント自粛要請や海外渡航規制が出されたことで、2020年3月に予定されていた婚礼日の延期、宴会、宿泊、レストランのキャンセル等が発生し、本有事によるマイナス影響額は、売上高26億48百万円、営業利益14億29百万円となっております。

この結果、売上高は636億78百万円（前年同期比4.8%減）となり、営業利益は35億79百万円（前年同期比16.4%減）、経常利益は33億81百万円（前年同期比13.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億3百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

【国内ウェディング事業】

従来から継続して取り組んでまいりました既存店舗の戦略的リニューアルは、引き続き、取扱組数、単価上昇に大きく寄与しております。取扱組数につきましては、契約期間満了による一部店舗の営業終了及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、前年度と比べ、941組減少いたしました。一方、高付加価値商品及びサービスの導入により、挙式披露宴単価は、前年度比で79千円向上しております。

また、当連結会計年度は、収益性の改善を目的に不採算店舗を閉鎖し、経営資源の選択と集中を推進したことに加え、継続的に商品の高収益化に取り組んできた結果、売上総利益率が大幅に上昇いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により、例年では繁忙期である2020年3月の婚礼日の延期、宴会、宿泊キャンセル等が発生いたしました。

この結果、売上高は511億45百万円（前年同期比5.7%減）となり、営業利益は57億9百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

【海外・リゾートウェディング事業】

海外・リゾートウェディング事業は、新規出店による競争環境の激化及び旅行代理店からの送客減少の影響で、日本人を対象とした挙式取扱組数が前年度と比べ、10.0%減少いたしました。一方、台湾、香港を中心とした東アジアマーケットは拠点拡大に伴い、取扱組数、単価共に堅調に推移しております。また、シェア拡大を目的に、国内に新規直営サロン3店舗（広島、名古屋、銀座）を開業し、中国（上海、北京）に営業所を設置したことで開業費、運営費が増加いたしました。

これらの結果、売上高は111億6百万円（前年同期比0.6%減）、営業損失は2億56百万円（前年同期は営業利益3億89百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は581億97百万円となり、前連結会計年度末と比較し10億67百万円の増加となりました。これは土地購入等により有形固定資産が27億93百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度末における負債は344億0百万円となり、前連結会計年度末と比較し4億51百万円の増加となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによるものです。当連結会計年度末の純資産は237億97百万円となり、前連結会計年度末と比較し6億16百万円の増加となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが42億59百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが70億38百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが22億93百万円の収入となり、この結果、当連結会計年度の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）期末残高は、期首より4億90百万円減少し、60億78百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は42億59百万円（前年同期は64億49百万円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益を19億23百万円計上したこと、減価償却費を30億45百万円計上したこと、減損損失を14億19百万円計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は70億38百万円（前年同期は24億88百万円の支出）となりました。これは主に、土地購入等の有形固定資産の取得による支出72億61百万円、有形固定資産の売却による収入3億0百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は22億93百万円（前年同期は19億56百万円の支出）となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

| | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率(%) | 41.0 | 38.9 | 37.3 | 40.2 | 40.6 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 12.1 | 24.1 | 27.4 | 32.0 | 12.4 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) | 4.6 | 4.7 | 5.7 | 3.4 | 5.7 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) | 15.9 | 21.9 | 10.5 | 18.8 | 12.6 |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

① いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

② 株式時価総額は、当期末株価終値×当期末発行済株式数で計算しております。

③ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている長短借入金及びリース債務(長期を含む)を集計して計算しております。

(4) 今後の見通し

今後の当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、かつてないほど不透明なものとなっております。

結婚適齢期人口の減少に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大により、婚礼・宴会、宿泊、海外渡航等の実施が一時的に見合わせとなっており、この急速な需要の減退のため、事業採算が大幅に悪化しております。この状況は今後一定期間継続すると見られ、業界内で事業者の淘汰が一気に加速すると思われまます。当社グループは、新型コロナウイルス収束後の事業環境の変化を見据え、長期的視野での競争優位の創出とともに、更なる強固な事業基盤の構築を進めてまいります。

そのため、翌連結会計年度におきましては「長期経営方針～2027～」で掲げた成長戦略に基づき、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいります。当面の重要課題として、お客様、従業員の安全に万全を期した業務の運営、経営の安定化を図るための運転資金枠の確保、販管費抑制による経費削減、投資効果の特に高い案件以外の設備投資の凍結、海外拠点の見直しによる拠点再編等を、進めてまいります。

現在、政府より緊急事態宣言が発令されていることを受け、当社グループの施設は、お客様と従業員の安全、そして感染拡大防止への社会的責任を第一に考え、緊急事態宣言発令期間中においては臨時休業をしております。また、当社国内ウェディング事業における今年度下半期の受注残高は、上半期からの婚礼日の延期等によるものを含め前年同期比154.0%となっておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通しづらいことに加え、今後も引き続き密閉・密集・密接を避けることを要望されており、業績の回復時期を予想することが困難な状況です。

このため、2021年3月期の連結業績見込みについては、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益、いずれも赤字となる見込みであります。ただし、その影響額については、現段階で合理的な算定が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,782 | 6,455 |
| 売掛金 | 842 | 642 |
| 営業貸付金 | 3,287 | 2,774 |
| 商品 | 203 | 174 |
| 貯蔵品 | 42 | 90 |
| 前払費用 | 925 | 1,049 |
| その他 | 659 | 309 |
| 貸倒引当金 | △96 | △68 |
| 流動資産合計 | 12,647 | 11,428 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 35,084 | 35,260 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △16,878 | △17,973 |
| 建物及び構築物(純額) | 18,205 | 17,286 |
| 機械装置及び運搬具 | 183 | 123 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △171 | △111 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 12 | 11 |
| 工具、器具及び備品 | 6,648 | 7,333 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △5,241 | △6,025 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,407 | 1,307 |
| 土地 | 11,207 | 15,284 |
| リース資産 | 4,571 | 4,460 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △1,164 | △1,550 |
| リース資産(純額) | 3,406 | 2,910 |
| 建設仮勘定 | 92 | 324 |
| 有形固定資産合計 | 34,331 | 37,124 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 121 | 101 |
| その他 | 677 | 361 |
| 無形固定資産合計 | 798 | 462 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 21 | 21 |
| 長期貸付金 | 168 | 134 |
| 長期前払費用 | 184 | 166 |
| 繰延税金資産 | 2,920 | 3,118 |
| 敷金及び保証金 | 6,113 | 5,808 |
| その他 | 128 | 127 |
| 貸倒引当金 | △183 | △193 |
| 投資その他の資産合計 | 9,352 | 9,182 |
| 固定資産合計 | 44,483 | 46,769 |
| 資産合計 | 57,130 | 58,197 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,594 | 1,313 |
| 短期借入金 | 990 | 2,330 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 5,741 | 5,554 |
| 未払金 | 2,992 | 2,101 |
| 未払法人税等 | 736 | 814 |
| 賞与引当金 | 702 | 695 |
| 株式報酬引当金 | - | 3 |
| その他 | 3,327 | 3,361 |
| 流動負債合計 | 17,084 | 16,175 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,994 | 12,741 |
| 長期リース資産減損勘定 | 22 | - |
| 長期リース債務 | 3,730 | 3,462 |
| 資産除去債務 | 1,202 | 1,284 |
| その他 | 914 | 736 |
| 固定負債合計 | 16,864 | 18,225 |
| 負債合計 | 33,949 | 34,400 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,264 | 5,264 |
| 資本剰余金 | 5,208 | 5,208 |
| 利益剰余金 | 12,568 | 13,246 |
| 自己株式 | △218 | △211 |
| 株主資本合計 | 22,822 | 23,507 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 0 | △0 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 22 |
| 為替換算調整勘定 | 125 | 81 |
| その他の包括利益累計額合計 | 125 | 104 |
| 新株予約権 | 6 | 6 |
| 非支配株主持分 | 226 | 180 |
| 純資産合計 | 23,181 | 23,797 |
| 負債純資産合計 | 57,130 | 58,197 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 66,871 | 63,678 |
| 売上原価 | 24,697 | 23,348 |
| 売上総利益 | 42,173 | 40,330 |
| 販売費及び一般管理費 | 37,892 | 36,750 |
| 営業利益 | 4,281 | 3,579 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 3 |
| 受取保険金 | 18 | 80 |
| 貸倒引当金戻入額 | 17 | 1 |
| 還付消費税等 | 10 | - |
| 資産除去債務戻入益 | - | 29 |
| その他 | 61 | 41 |
| 営業外収益合計 | 112 | 157 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 344 | 336 |
| 為替差損 | 91 | 3 |
| その他 | 57 | 14 |
| 営業外費用合計 | 493 | 355 |
| 経常利益 | 3,900 | 3,381 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 615 | 1,419 |
| 臨時損失 | - | 39 |
| 賃貸借契約解約損 | 216 | - |
| その他 | 24 | - |
| 特別損失合計 | 856 | 1,458 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,044 | 1,923 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 942 | 1,179 |
| 法人税等調整額 | △188 | △215 |
| 法人税等合計 | 753 | 963 |
| 当期純利益 | 2,291 | 959 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 7 | △44 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,283 | 1,003 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 2,291 | 959 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 0 | △0 |
| 繰延ヘッジ損益 | △37 | 24 |
| 為替換算調整勘定 | △19 | △47 |
| その他の包括利益合計 | △56 | △23 |
| 包括利益 | 2,234 | 935 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,225 | 981 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 8 | △45 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 5,264 | 5,208 | 10,478 | △215 | 20,735 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △194 | | △194 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,283 | | 2,283 |
| 自己株式の取得 | | | | △2 | △2 |
| 自己株式の処分 | | | △0 | 0 | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 2,089 | △2 | 2,086 |
| 当期末残高 | 5,264 | 5,208 | 12,568 | △218 | 22,822 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|---------|--------------|-------------------|-------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘 定 | その他の包括利 益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | △0 | 34 | 143 | 177 | 7 | 216 | 21,136 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △194 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 2,283 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △2 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 0 | △34 | △17 | △51 | △0 | 9 | △42 |
| 当期変動額合計 | 0 | △34 | △17 | △51 | △0 | 9 | 2,044 |
| 当期末残高 | 0 | 0 | 125 | 125 | 6 | 226 | 23,181 |

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 5,264 | 5,208 | 12,568 | △218 | 22,822 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △323 | | △323 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,003 | | 1,003 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | | △2 | 7 | 5 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 677 | 6 | 684 |
| 当期末残高 | 5,264 | 5,208 | 13,246 | △211 | 23,507 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|---------|--------------|-------------------|-------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘 定 | その他の包括利 益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 0 | 0 | 125 | 125 | 6 | 226 | 23,181 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △323 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 1,003 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 5 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △0 | 22 | △43 | △21 | - | △45 | △67 |
| 当期変動額合計 | △0 | 22 | △43 | △21 | - | △45 | 616 |
| 当期末残高 | △0 | 22 | 81 | 104 | 6 | 180 | 23,797 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,044 | 1,923 |
| 減価償却費 | 3,001 | 3,045 |
| 減損損失 | 615 | 1,419 |
| 臨時損失 | - | 39 |
| のれん償却額 | 30 | 32 |
| 賃貸借契約解約損 | 216 | - |
| 還付消費税等 | △10 | - |
| 敷金及び保証金のリース料相殺額 | 205 | 159 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 185 | △6 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 31 | △17 |
| 役員株式給付引当金の増減額 (△は減少) | - | 3 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4 | △3 |
| 資産除去債務戻入益 | - | △29 |
| 受取保険金 | △18 | △80 |
| 支払利息 | 344 | 336 |
| 営業貸付金の増減額 (△は増加) | △631 | 513 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △126 | 199 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 257 | △1,279 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △83 | △124 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 522 | △729 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △84 | 97 |
| その他 | △117 | 130 |
| 小計 | 7,378 | 5,628 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4 | 3 |
| 臨時損失に伴う支払額 | - | △30 |
| 利息の支払額 | △343 | △337 |
| 保険金の受取による収入 | 18 | 80 |
| 消費税等の還付による収入 | 530 | 5 |
| 法人税等の支払額 | △1,139 | △1,090 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,449 | 4,259 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 信託預金の増減額 (△は増加) | - | △163 |
| ソフトウェアの取得による支出 | △246 | △73 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,359 | △7,261 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 300 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △6 | - |
| 事業譲受による支出 | - | △20 |
| 貸付金の回収による収入 | 64 | 35 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △259 | △78 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 360 | 223 |
| その他 | △42 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,488 | △7,038 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △320 | 1,340 |
| 長期借入れによる収入 | 4,090 | 7,500 |
| 長期借入金の返済による支出 | △5,257 | △5,939 |
| 自己株式の取得による支出 | △2 | △0 |
| 配当金の支払額 | △194 | △323 |
| リース債務の返済による支出 | △271 | △282 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,956 | 2,293 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △5 | △5 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,998 | △490 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,556 | 6,568 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 13 | - |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,568 | 6,078 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い政府より緊急事態宣言が発令されていることを受け、当社グループの施設は、お客様と従業員の安全、そして感染拡大防止への社会的責任を第一に考え、緊急事態宣言発令期間中においては臨時休業をしております。

当社グループにおいては、本感染症の今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、当連結会計年度末時点で入手可能な情報等を踏まえて、新型コロナウイルス感染症による影響が少なくとも2020年9月ごろまで続くものと仮定し繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失計上要否の判定を行っております。

しかしながら、本感染症による影響は不確定要素が多く、翌連結会計年度の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内ウェディング、海外・リゾートウェディング、金融・クレジット、旅行、保育等複数の業種にわたる事業を営んでおり、業種別に区分された事業ごとに、当社及び当社の連結子会社(以下、事業運営会社)が各々独立した経営単位として、単一の事業に従事する経営スタイルを基本としております。

したがって、当社グループは、事業運営会社を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「国内ウェディング事業」、「海外・リゾートウェディング事業」の2つを報告セグメントとしております。

「国内ウェディング事業」は、国内ハウスウェディング・レストランウェディングの企画・運営及び各種商品企画をしております。「海外・リゾートウェディング事業」は、海外・リゾートウェディングの企画・運営及び各種商品企画をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

| | 報告セグメント | | | その他 (百万円) (注)1 | 合計 (百万円) |
|------------------------|-------------------------|----------------------------------|------------|----------------------|-------------|
| | 国内ウェディング 事業 (百万円) | 海外・リゾート ウェディング 事業 (百万円) | 計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 54,259 | 11,174 | 65,434 | 1,437 | 66,871 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 39 | 27 | 67 | 573 | 640 |
| 計 | 54,299 | 11,202 | 65,501 | 2,010 | 67,512 |
| セグメント利益 | 5,846 | 389 | 6,236 | 214 | 6,450 |
| セグメント資産 | 39,491 | 6,630 | 46,122 | 4,388 | 50,511 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 2,198 | 616 | 2,814 | 17 | 2,832 |
| のれんの償却額 | 30 | — | 30 | — | 30 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 2,482 | 269 | 2,752 | 3 | 2,755 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業
保育事業等を含んでおります。

2. 減価償却費、及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用とその償却額が含まれており
ます。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

| | 報告セグメント | | | その他 (百万円) (注)1 | 合計 (百万円) |
|------------------------|-------------------------|----------------------------------|------------|----------------------|-------------|
| | 国内ウェディング 事業 (百万円) | 海外・リゾート ウェディング 事業 (百万円) | 計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 51,145 | 11,106 | 62,252 | 1,426 | 63,678 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 41 | 0 | 42 | 695 | 738 |
| 計 | 51,187 | 11,107 | 62,295 | 2,121 | 64,417 |
| セグメント利益 | 5,709 | △256 | 5,452 | 264 | 5,716 |
| セグメント資産 | 41,563 | 5,902 | 47,466 | 3,298 | 50,764 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 2,278 | 610 | 2,888 | 16 | 2,905 |
| のれんの償却額 | 30 | 2 | 32 | — | 32 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 6,548 | 587 | 7,136 | 8 | 7,145 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業
保育事業等を含んでおります。

2. 減価償却費、及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用とその償却額が含まれており
ます。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 売上 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------------|---------|---------|
| 報告セグメント計(百万円) | 65,501 | 62,295 |
| 「その他」の区分の売上(百万円) | 2,010 | 2,121 |
| セグメント間取引消去(百万円) | △640 | △738 |
| 連結財務諸表の売上高(百万円) | 66,871 | 63,678 |

| 利益 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------------|---------|---------|
| 報告セグメント計(百万円) | 6,236 | 5,452 |
| 「その他」の区分の利益(百万円) | 214 | 264 |
| セグメント間取引消去(百万円) | 4 | 7 |
| 全社費用(注)(百万円) | △2,173 | △2,144 |
| 連結財務諸表の営業利益(百万円) | 4,281 | 3,579 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

| 資産 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------------|---------|---------|
| 報告セグメント計(百万円) | 46,122 | 47,466 |
| 「その他」の区分の資産(百万円) | 4,388 | 3,298 |
| 全社資産(注)(百万円) | 6,619 | 7,433 |
| 連結財務諸表の資産合計(百万円) | 57,130 | 58,197 |

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社設備であります。

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | その他 | | 調整額 | | 連結財務諸表計上額 | |
|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 |
| 減価償却費(百万円) | 2,814 | 2,888 | 17 | 16 | 168 | 140 | 3,001 | 3,045 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 (百万円) | 2,752 | 7,136 | 3 | 8 | 269 | 38 | 3,024 | 7,183 |

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社設備投資額であります。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,771.86円 | 1,822.56円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 176.33円 | 77.46円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円) | 2,283 | 1,003 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円) | 2,283 | 1,003 |
| 期中平均株式数(株) | 12,952,310 | 12,954,517 |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 23,181 | 23,797 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 232 | 186 |
| (うち新株予約権(百万円)) | (6) | (6) |
| (うち非支配株主持分(百万円)) | (226) | (180) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 22,948 | 23,611 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株) | 12,951,680 | 12,954,918 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(重要な後発事象)

(当座貸越契約の締結)

1. 当社は株式会社りそな銀行と当座貸越契約を下記の通り締結いたしました。

なお、現時点での借入実行残高は1,250百万円です。

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 資金使途 | 運転資金 |
| (2) 契約日 | 2020年4月21日 |
| (3) 契約先 | 株式会社りそな銀行 |
| (4) 極度額 | 5,000百万円 |
| (5) 契約期限 | 2020年12月31日 |
| (6) 借入金利 | 市場金利に連動した変動金利 |
| (7) 担保提供資産の有無 | 無 |

2. 当社は株式会社みずほ銀行と当座貸越契約を下記の通り締結いたしました。

なお、現時点での借入実行残高は1,250百万円です。

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 資金使途 | 運転資金 |
| (2) 契約日 | 2020年4月21日 |
| (3) 契約先 | 株式会社みずほ銀行 |
| (4) 極度額 | 5,000百万円 |
| (5) 契約期限 | 2021年4月24日 |
| (6) 借入金利 | 市場金利に連動した変動金利 |
| (7) 担保提供資産の有無 | 無 |